

した。今年度は手術看護分野が11名、透析看護分野が8名の計19名が約6か月間の受講を経て、この日を迎えた。

久光学長は告辭で「昭和大学認定看護師教育センター



令和2年度 昭和大学認定看護師教育センター修了式

就任のお知らせ（3月9日 理事会承認）

特任教授 村上 雅彦 選考理由：昭和大学食道がんセンター長および昭和大学病院食道外科診療科長のため 任命日：令和3年4月1日	特任教授 鈴木 尚志 選考理由：昭和大学江東豊洲病院麻酔科診療のため 任命日：令和3年4月1日
特任教授 長谷川 真 選考理由：昭和大学江東豊洲病院放射線診断科診療科長のため 任命日：令和3年4月1日	医学部泌尿器科学講座担当 教授 昭和大学病院泌尿器科 診療科長 (勤務地：昭和大学病院泌尿器科) 深貝 隆志 前：医学部泌尿器科学講座担当 教授 (勤務地：昭和大学江東豊洲病院外科系診療センター（泌尿器科）) 任命日：令和3年4月1日
医学部医学教育学講座担当 教授 (勤務地：昭和大学横浜市北部病院医療教育支援室) 緒方 浩顕 前：医学部内科学講座(腎臓内科学部門)担当教授(員外) (勤務地：昭和大学横浜市北部病院内科系診療センター(内科)) 任命日：令和3年4月1日	薬学部臨床薬学講座(臨床栄養代謝学部門)担当 教授 (医学部外科学講座(小児外科学部門)兼担) 千葉 正博 前：医学部外科学講座(小児外科学部門)担当准教授 (勤務地：昭和大学病院小児外科) 任命日：令和3年4月1日
薬学部社会健康薬学講座(社会薬学部門)担当 教授 岸本 桂子 前：薬学部社会健康薬学講座(社会薬学部門)担当教授(員外) 任命日：令和3年4月1日	昭和大学先端がん治療研究所長(再任) 鶴谷 純司 現：昭和大学先端がん治療研究所長 任期：令和3年4月1日～令和6年3月31日
昭和大学認定看護師教育センター長(再任) 三村 洋美 現：昭和大学認定看護師教育センター長 任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日	薬用植物園園長(再任) 川添 和義 現：薬学部臨床薬学講座(天然薬治療学部門)担当教授 任期：令和2年4月1日～令和5年3月31日
IR室長 下司 映一 現：保健医療学部看護学科 教授 任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日	教授(員外)(学長直属) (勤務地：昭和大学病院手術コントロール室) 土佐 泰祥 前：医学部形成外科学講座担当 准教授 (勤務地：昭和大学藤が丘病院外科系診療センター(形成外科)) 任命日：令和3年4月1日
医学部脳神経外科学講座担当 教授(員外) 昭和大学藤が丘病院脳神経センター脳神経外科 診療科長 (勤務地：昭和大学藤が丘病院脳神経センター(脳神経外科)) 津本 智幸 前：医学部脳神経外科学講座担当 准教授 (勤務地：昭和大学藤が丘病院脳神経センター(脳神経外科)) 任命日：令和3年4月1日	昭和大学病院救急診療科 診療科長 (勤務地：昭和大学病院救急診療科) 垂水 康子 現：医学部救急・災害医学講座担当 准教授 (勤務地：昭和大学病院救急診療科) 任命日：令和3年4月1日
特任教授(継続) 大久保文雄 九島 己樹 宮崎 隆 岡本健一郎 富田 英 三邊 武幸 工藤 進英	任期：令和3年4月1日～令和4年3月31日

認定看護師教育センター修了式

令和2年度昭和大学上條記念館で挙行し、この課程を修了した15名光正学長から修了証が授けられた。

久光学長は告辭で

皆さんは助産師の仕事を通して世の中に貢献するという道を選びました。常に切磋琢磨して、本学の修了生として世の中で活躍していくべきだ」と述べた。また、下平和久専攻科長からも「皆さん今まで見たことがない状況に遭遇しても、エビデンスに則った正確な知識をもとに、周

助産師会員登録所定の記入欄に久留米市助産師会へお問い合わせ下さい。



令和2年度
昭和大学附属高等学校修了式

ブルーウィンズが優勝

昭和大学女子アイスホッケーのクラブチーム「ブルーウィンズ」が2月21日、第27回善光寺レディースカップの決勝戦で西宮アイスホッケークラブと対戦し、5対0で優勝した。



小野賛二郎教授(医学部内科学部門)、二村明徳講師(医学部内科学部門)講座脳神経内科学部門を中心とする研究グループは、入江一浩教授(京都市大学)、池内健教授(新潟大学)との共同研究で、アルツハイマー病の病因蛋白($\text{A}\beta$)の一種である $\text{A}\beta_{42}$ 毒性コンホマーが、発症前のアルツハイマー病で増加していることを観察し、これまで関連が不明であったもう一つの重要な病因蛋白であるタウ蛋白との関連も明らかにしたことで、アルツハイマー病の発症メカニズムの一端を明らかにした。本研究成果は国際学術誌

長賞の授与も行われた。
閉式後は修了生代表によ
る食事の産育習俗を研究し
たポスターセッションが行
われたほか、修了生が作成
した1年間を振り返る記念
動画が上映された。

小野賢一郎教授らの研究グループが解明

昭和大学サポート寄付制度による協力いきばり会

四和上岸庄院：◎中林

【一般】貝振 允也 様 / 東京都騎手会

昭和十一年度から病院の実績

【圖 窗】 滇口 李造樣(医学部・58回生)

タクラズ・学生会への寄付

【同窓】三橋 裕一様(医学部:62回生)

D患者の脳脊髄液中の $\text{A}\beta$ 蛋白の増加は認知機能の低下と関連していた。この結果は、認知症発症前から $\text{A}\beta$ 42毒性コンホマーが、ADの発症を促進させていたことを示している。また、その発症には、 $\text{A}\beta$ 42毒性コンホマー自身の毒性だけでなく、コンホマーがタウ病態の引き金を引くことで、さらにADの病勢を加速させている可能性があること

た。その結果、 $\text{A}\beta$ 42の総量に対する $\text{A}\beta$ 42毒性コンホマーの割合は、健常人と比較して、すでにプレクリニカルADで高く、AD患者ではさらに高くなることが判明した。そして $\text{A}\beta$ 42毒性コンホマーの量は、リシン酸化タウ蛋白と正の相関があり、そのリシン酸化タウ